

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	特別研究基礎
科目基礎情報						
科目番号	0151		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	学修単位: 6		
開設学科	総合システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	通年		週時間数	前期:10 後期:10		
教科書/教材						
担当教員	高谷 富也,四蔵 茂雄,宮元 健次,加登 文学,徳永 泰伸,三輪 浩,玉田 和也,尾上 亮介,渡部 昌弘,毛利 聡					
到達目標						
1. 与えられた研究テーマに関連する文献を調査することができる。 2. アイデアを実現するための実践力を身につけており, 研究成果を説明ならびに発表することができる。 3. 研究プログラムの節目において, 指導教員とのディスカッションなどにより研究方針の決定ができる。 4. 研究成果を論文としてまとめることができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
評価項目4						
学科の到達目標項目との関係						
(B) (C) (D) (G)						
教育方法等						
概要	1. 建設工学コースの専門分野における技術者, 研究者としての基礎的素養を, 各々の研究テーマを通じて体得させることを目的とする。 2. 具体的には, 研究テーマを遂行するために必要な文献調査, 独創的発想, 研究計画と意志決定, シミュレーション, 実験的検証などの方法を実践により体得することを目指す。 3. また, 得られた結果に基づいて工学現象を論考するとともにその内容を的確に記述し, 研究論文としてまとめる基礎的能力を養う。さらに, 得られた研究成果を説明できる基礎的能力を育成する。 1. The aim of this course is to master fundamental knowledge needed as an engineer in the specialized field of Civil engineering and Architecture Course through the study of each research theme. 2. Concretely, this course aims to master the methods necessary for the accomplishment of the research theme through practical means such as literature investigation, having an original idea, making research plans, decision-making, simulation, and experimental investigation. 3. This course also aims for students to master the ability to examine matter related to the engineering phenomena based on observation derived results and describe them exactly. It also aims to raise the student's ability to write a thesis and explain the derived results.					
授業の進め方・方法	1 回目の授業でオリエンテーションおよび研究テーマに関する説明を行う。2 回目の授業では学生の希望を考慮して配属先を決定する。3 回目から研究遂行に入る。研究指導においては, 主担当の指導教員を中心に複数の教員によるグループ指導が実現できるように努める。 研究を進める過程において, 学生自ら興味と問題意識を持ち, 自主的・継続的に研究に取り組むことが必要である。テーマに関して指導教員と積極的にディスカッションを行い, 方向性, 内容を深めていくこと。実験室・研究室には日参することが大切である。					
注意点	研究概要と発表会の内容(30%), 特別研究レポート(60%), 取組姿勢(10%)を総合的に勘案し, 到達目標に基づき, 指導教員が評価する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				

	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	10	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	10	60	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0